職業実践専門課程等の基本情報について

学校名				交長名	₹	277-0842				
大原簿記法律専門	学校柏校	平成7年12月2	27日 児	玉 紀裕	(住所)	千葉県柏市末広町10 04-7147-1008	番地1号			
設置者名		設立認可年月	目 代	表者名			所在地			
学校法人大原	学園	昭和54年4月	1日 中	本 毎彦		101-0065 東京都千代田区西神	田一丁目1番3号			
分野	初完	2課程名	認定学	1夕	(電話)	03-3292-6266 引士認定年度	高度専門士認定	午度	職業宝跬夷	門課程認定年度
商業実務		<u>麻性和</u> 務専門課程	経理本			3(1997)年度	同及守门工心足	十尺		- 1 J 1 J 1
1-3-1-2-122			<u> </u>							
学科の目的						ーなどを習得すると共1 社会人の育成を目的と		識(経理実績	務・給与計算	実務・税務会計・
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	■主な学修成 技能検定協会	果(資格·検定等) 主催電卓検定 等	税理士試験、日本商	ī工会議所主催	簿記検定、M	licrosoft Office Speciali	st、ファイナンシャル・	プランナー(FP)、ITパス	ポート、日本電卓
修業年限	昼夜		な総授業時数又は約 対数	講	彘	演習	実習	実駒	験	実技
2		単位時間、単位いずれ	1,700 単位時間	4,020	単位時間	2,610 単位時間	0 単位時間	i 0	単位時間	0 単位時間
年		記入	単位		単位	単位	単位	<u>i</u>	単位	単位
生徒総定員	生徒実員	(A) 留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
80 人	87 人		0 人	0	%	10 %				
33 11	■卒業者数(45		人					
	■就職希望者		40		人					
	■就職者数(■地元就職者		40 6		숫					
	■就職率(E/		100		%					
		iめる地元就職者の								
	■卒業者に占	める就職者の割合	15 (E/C)		%					
			89		%					
就職等の状況	■進学者数 ■その他		0		人					
	社会人講座3	名、アルバイト2名	3							
	(令和	。在唐太紫老	·に関する令和7年5	11日時占の棲地	a)					
	■主な就職先		(CB() 2 141 (T 0)	1 T H #4 W 4 > 1 H #4	x)					
	(令和6年度卒業									
			新千葉、リログルー	-プ. 五洋建設	(株) SMC(株)	笠油は歩わいねー ロ	I運搬機械㈱、ザ・パ	ック㈱東京	本社、㈱紀	文産業、(株)トー
										> \1_> \(\(\(\(\(\(\(\(\) \\ \) \)
						・ムセンター、茨城日産			等	
	ンスチール、: ■民間の評価	カント―カセイ(株)、 西機関等から第三	(株)イチケン、日立自 活評価:						等	
第三者による	ンスチール、: ■民間の評価	カント―カセイ(株)、	(株)イチケン、日立自 活評価:			・ムセンター、茨城日産			等	
第三者による 学校評価	ンスチール、2 ■ 民間の評価 ※有の場合、例	カント―カセイ(株)、 西機関等から第三	(株)イチケン、日立自 活評価:			·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書		等	
学校評価	ンスチール、2 ■ 民間の評価 ※有の場合、例	カント―カセイ(株)、 西機関等から第三 えば以下について任	(株)イチケン、日立自 活評価:	1動車㈱、㈱不		·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	自動車㈱、㈱雪国 a		等	
学校評価 当該学科の	ンスチール、7 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価	カントーカセイ(株)、 西機関等から第三 えば以下について任 が団体:	(株)イチケン、日立自 者評価: 意記載	計動車(株)、(株)不 受審年月:		·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書		等	
学校評価	ンスチール、7 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価	カントーカセイ(株)、 西機関等から第三 えば以下について任 が団体:	(株)イチケン、日立自 活評価:	計動車(株)、(株)不 受審年月:		·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書		等	
学校評価 当該学科のホームページ	ンスチール、7 ■民間の評値 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント―カセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni	(株)イチケン、日立自 者評価: 意記載	計動車(株)、(株)不 受審年月:		·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書		在	
学校評価 当該学科のホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カントーカセイ(株)、 西機関等から第三 えば以下について任 が団体:	(株)イチケン、日立自 者評価: 意記載	計動車(株)、(株)不 受審年月:		·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等		
学校評価 当該学科の ホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント一カセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 要業時数	(様)イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw	動車㈱、㈱不 受審年月: a/	ニ家システ	·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント一カセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw	動車(株)、(株)不受害年月:a/習・実技の授業	ニ家システ	·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 曼業時数 うち企業等 うち企業等	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 を連携した演習の授	動車(株)、(株)不受害年月:a/習・実技の授業	ニ家システ	·ムセンター、茨城日産 無 _{評値}	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 i 0 i 180 i	単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント一カセイ㈱、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac,jp/seni 間による算定) 受業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要等	動車(株)、(株不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数	に一家システ	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g	単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント一カセイ㈱、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac,jp/seni 間による算定) 受業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 を連携した演習の授	動車(株)、(株不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数	に一家システ	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g	単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カント一カセイ㈱、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac,jp/seni 間による算定) 受業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修打	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要等	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・	二家システ	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g	単位時間単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www.	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 曼業時数 うち企業等 うち必修技	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL ** 業等と連携した と と と と と と で を で を を を を を を を を を を を	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総批	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 曼業時数 うち企業等 うち必修技	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況への実施が、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総批	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 長業時数 うち企業等 うち必修技	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携は状況	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 長業時数 うち企業等 うち必修技	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 』 0 』 180 』 0 』 0 』	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした に関するのまいずれんか。	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、 亜機関等から第三 えば以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 長業時数 うち企業等 うち必修技 (うち企身	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数)	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 』 0 』 180 』 0 』 0 』	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況への実施が、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Eと連携した実験・実 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数)	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況への実施が、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Eと連携した実験・実 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数)	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 0 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのよいずれんが、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Eと連携した実験・実 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授	ニ家システ 時数 実習・実技 授業時数)	・ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 0 g 0 g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのよいずれんが、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Eと連携した実験・実 と連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの摂 習・実技の単位 位数	ニ家システ ・実持 ・実技 ・実技 ・実験 ・実数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ムセンター、茨城日産 無 評価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 0 g 1 g 0 g 0 g 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした に関するのまいずれんか。	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立自 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Eと連携した実験・実 と連携した演習の授 課時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの摂 習・実技の単位 位数 た必修の実験・	ニ家システー 実験 実際・実技 実際 ・実技 実際 ・実技 実際 ・実技 変数 実習・実技 ない また	ムセンター、茨城日産 無 評価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 』 0 』 180 』 0 』 0 』 180 』 0 』 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Fと連携した実験・実 を連携した演習の授 業等と連携した方面の授 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の 一ンシップの摂 習・実技の単位 位数 た必修の実験・ たと必修の実際での演習の たと必修の実験・ たとなりをの実験・ たとなりでの表	ニ家システー 実験 実際 ・実技 教 実 単 位 数	ムセンター、茨城日産 無 評価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 180 g 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況への実施が、	ンスチール。 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総担 (B:単位数	カントーカセイ㈱、	様/イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Fと連携した実験・実 を連携した演習の授 課時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ を連携したインタ を連携した実験・実 をと連携した演習の単 は位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 受審年月: a/ 習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の 一ンシップの摂 習・実技の単位 位数 た必修の実験・ たと必修の実際での演習の たと必修の実験・ たとなりをの実験・ たとなりでの表	ニ家システー 実験 実際 ・実技 教 実 単 位 数	ムセンター、茨城日産 無 評価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 180 g 1	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単位位 単位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携しした に関するのまいずれんか。	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総計	カントーカセイ㈱、 面機関等から第三 えば以下について任 il団体: oーhara.ac,jp/seni 間による算定) 受業時数 うち企業等 うち必修技 (うち企ま うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 「うち企ま うち企業等 「うち企ま 」 の専 の の の の の の の の の の の の の の の の の	様/イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Fと連携した実験・実 を連携した演習の授 課時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ を連携したインタ を連携した実験・実 をと連携した演習の単 は位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 には、 は、 には、 には、 には、 には、 には、 には	三家システー	ムセンター、茨城日産 無 評価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自動車㈱、㈱雪国書	まいたけ 等 1,700 g 0 g 180 g 0 g 0 g 0 g 180 g 1	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位位 位位位位位位 位位 位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	ンスチール、2 ■民間の評価 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位時間 総計 (B:単位数) 総計	カントーカセイ様、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: oーhara.ac.jp/seni 間による算定) 要業時数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 は位数 うち企業等 うち必修技 (うち企業 うち必修技 の神音等談 の担当等業年限と当該条件	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw Fと連携した実験・の授業と連携した実際のの企業等と連携した主連携したな企業等と連携した大変である企業等と連携したを適力も企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等と連携したである企業等とを連携したである企業等とを連携したである企業等とを連携したである。	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 には、 は、 には、 には、 には、 には、 には、 には	三家システー	の授業時数	第1号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単位 位 時間 日本 中華	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業署等のと連集施状況 (A、に記入)	ンスチール、2 ■民間の開合、例 ※有の場合、例 評価 (A:単位 総社 (B:単位数) (B:単位数)	カントーカセイ様、 面機関等から第三 えば以下について任 前関体: の-hara.ac,jp/seni 間による算定) 受業時数 うち企業等 うち必修括 (うち企業 うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等等は うちを企業等がある。 のののでは、 のののでは、 ののでは、	様/子ケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 をと連携した実験・実 をと連携した企業等と連携したインタ をと連携したインタ をと連携した大変習の単 を変勢と連携した次変習の単 を変勢と連携した変響をと連携したが変習が、またと連携した変習が、また。 を変勢を変勢をできる。 を変数をできる。 を変変ををををををををををををををををををををををををををををををををを	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 には、 は、 には、 には、 には、 には、 には、 には	三家システ 実持数 実著・時数) (数 実単位数 (専修学	ムセンター、茨城日産 無 評価 ボー の単位数 を設置基準第41条第1項3 校設置基準第41条第1項3	第1号) 第2号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 180 g 0 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単位位時間間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単位位 位位 位位 位位 位位 位位 人人	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等を連携しした況か に記入)	ンステール、2 ■民間の開発 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位数1 総計 (B:単位数1 総計 (B:単位数2 (2) (3)	カントーカセイ様、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: oーhara.ac.jp/seni 間による算定) 要業時数 うち企業等 うち必修搭 (うち企ま うち企企業等 うち企企業等 うちを必修が。 できると、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実施と連携した実験の授業等と連携したな業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の単単と連携した演習の単単と連携した演習の単単を変換したで表別である。 「おち企業等と連携したであります。」 「おち企業等と連携した後、ででは、第一である。」 「おちで、また、また、また、また。」 「おちで、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また。」 「また。」	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 には、 は、 には、 には、 には、 には、 には、 には	三家システ 実授業時数 実理 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学 (アール)) (アール) (アー	の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 180 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等を連携しした況か に記入)	ンスチール、2 ■民間の開発 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位数1 総計 (B:単位数2 総計 (B:単位数3 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B:	カントーカセイ様、 面機関等から第三 元は以下について任 i団体: o-hara.ac.jp/seni 間による算定) 要業時数 うち企業等 うち必修括 (うち企ま こよる算 こよる算 こよる算 こよる算 こよる算 こよるな 第二 こよるな の事等に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実施と連携した実験の授業等と連携したな業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の単単と連携した演習の単単と連携した演習の単単を変換したで表別である。 「おち企業等と連携したであります。」 「おち企業等と連携した後、ででは、第一である。」 「おちで、また、また、また、また。」 「おちで、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また。」 「また。」	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	三家システ 実技 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等の実施洗れかに記入) に記入)	ンスチール、2 ■民間の開発 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位数1 総計 (B:単位数2 総計 (B:単位数3 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B:	カントーカセイ様、 面機関等から第三 えば以下について任 i団体: oーhara.ac.jp/seni 間による算定) 要業時数 うち企業等 うち必修搭 (うち企ま うち企企業等 うち企企業等 うちを必修が。 できると、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実施と連携した実験の授業等と連携したな業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の単単と連携した演習の単単と連携した演習の単単を変換したで表別である。 「おち企業等と連携したであります。」 「おち企業等と連携した後、ででは、第一である。」 「おちで、また、また、また、また。」 「おちで、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また。」 「また。」	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	三家システ 実技 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 180 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等の実施洗れかに記入) に記入)	ンスチール、2 ■民間の開発 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位数1 総計 (B:単位数2 総計 (B:単位数3 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B:単位数4 (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B: (B:	カントーカセイ様、	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実施と連携した実験の授業等と連携したな業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の単単と連携した演習の単単と連携した演習の単単を変換したで表別である。 「おち企業等と連携したであります。」 「おち企業等と連携した後、ででは、第一である。」 「おちで、また、また、また、また。」 「おちで、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また。」 「また。」	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	三家システ 実技 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,700 g 1,700 g 0 g 180 g 180 g 0 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等の実施洗れかに記入) に記入)	ンスチール、2 ■民間の開発を ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位 数 (B:単位 数 (B:単位 数 (2 3 3 4 5	カントーカセイ様、	様イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実施と連携した実験の授業等と連携したな業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ をと連携した演習の単単と連携した演習の単単と連携した演習の単単を変換したで表別である。 「おち企業等と連携したであります。」 「おち企業等と連携した後、ででは、第一である。」 「おちで、また、また、また、また。」 「おちで、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また、また。」 「おもので、また。」 「また。」	動車(株)、(株)不 要事年月: a/ 習・実技の授業 た必修の実験・ た必必修の演習の行 位数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 た必修の実験・の でも数 ためがのでする。 では、 では、 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	三家システ 実技 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,700 g 1,700 g 1,700 g 180 g 180 g 180 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL を書等のと連携施北かんに記入) に記入)	ンスチール、2 ■民間の場合、例 ※有の場合 評価 https://www. (A:単位 総社 (B:単位 数) 総は (B:単位 数) (B:単位 数) (B:単位 数) (B:単位 数) (B:単位 数)	カント ファイ (株) (東京) (東京	様イチケン、日立日 者評価: 書記載 mon/school/kashiw をと連携した実際である。 まと連携した実演である。 まと連携した実演である。 まときと連携したを変響等とと連携したをある。 うう等とと連携したたま演である。 うう等とと連携したたま演である。 うちと連携したたま演である。 うちと連携したたま演である。 うちと連携したたるの間と うちを連携したで、期間と る者等とを修えている。 できたは事したで、別では、これで、また。 できたは事じた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 でき	動車(株)、(株)不 要車(株)、(株)不 要等等年月: 本/ 電子等数 を必必を多りであっている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	三家システー	が 大設置基準第41条第1項3 校設置基準第41条第1項3 校設置基準第41条第1項3 校設置基準第41条第1項3 校設置基準第41条第1項3	第1号) 第2号) 第2号) 第5号)	1,700 g 1,700 g 1,700 g 180 g 180 g 180 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームグ URL 業等等と連集施状かした況(A、に記入)	ンステール、2 ■民間の合 ※有の場合、例 評価 https://www. (A:単位数1 総割 (B:単位数2 (B:単位数3 (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	カント ファイ (株) (東京) (東京	(株)イチケン、日立日 者評価: 意記載 mon/school/kashiw をと連携した実験・実 を連携した実験・実 を連携した実験・実 を主連携した演習の長 を主連携した次変習の単 した変響等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うちを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	動車(株)、(株)不 要車(株)、(株)不 要等等年月: 本/ 電子等数 を必必を多りであっている。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	三家システー	の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9 を設置基準第41条第1項9	第1号) 第2号) 第2号) 第5号)	1,700 g 1,700 g 1,700 g 180 g 180 g 180 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1 g 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である一般事業会社等と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を習得した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、パソコンスキル、ビジネスマナーは勿論のこと、選択により、卒業後の業界・職種内容に応じた専門知識(経理実務・給与計算実務・税務会計・販売管理等)の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置付けについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置付ける。また、委員会での協議結果は教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は、教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
鈴木 大介	昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計 ファイナンス学科 教授	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	2
牛尾 克明	牛尾税務会計事務所 副所長 税理士	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3
千浜 玄明	株式会社三和 人事部長 兼 経理部長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3
千葉 亮二	株式会社リングストン 取締役工場長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3
小澤 元一	小澤元一税理士事務所 代表税理士	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
児玉 紀裕	大原簿記法律専門学校柏校 校長		-
山内 一美	大原簿記法律専門学校柏校 教務部 部長		_
三浦 昌実	大原簿記法律専門学校柏校 教務部 課長補佐		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月-2月)

(開催日時(実績))

【令和6年度】

第1回 令和6年7月27日 15:00~16:45

第2回 令和7年2月15日 10:30~12:00

【令和7年度】

第1回 令和7年8月30日 11:10~12:40

第2回 令和8年2月14日 実施予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

(継続的な実施)

- ・実務上の判例(経理処理に関する)を指導マニュアルに追記を行う。
- ・消費税法の課税区分の理解度が高められるように演習問題の追加を行う。
- ・税務関係(消費税・法人税等)について、入社数年目の社員に求められる必須知識の情報収集を行い、教育内容・カリ キュラムの改訂を行う。
- ・教員の講義の厚みを持たせる為、実務上の事例集を作成する。
- ・実践的な知識を習得のための知識・指導スキル向上を図る。実務経験の有無・指導歴に左右されずより厚みのある講義ができるように実務家による「実務で有用な財務分析」等について教員研修(勉強会)を継続的に実施する。
- ・経理事務職の業務理解度を高め適切な処理手続きを行うことのできる人材を育成するため、実務家による教員研修(勉強会)を定型化する。
- ・税理士コースでは、カリキュラムが落ち着いた時期にパソコン演習を取り入れ、専門知識と一般的なPCスキルの両方を習 得する方針としていく。
- ・学生が限られた情報や周囲の影響により視野が狭くなる傾向があるため、学生の状況や価値観に応じて、学生・保護者・ 学校間での情報共有を一層密にし、柔軟な対応が図れるようにする。

(結果及び効果)

- ・指導マニュアルに実務上の判例及び情報収集先を掲載したことにより、より厚みのある講義が展開でき、教員の知識力 アップに繋げることができた。
- ・実務家による教員研修(勉強会)において、「新入社員に求められる税務関係(消費税・法人税等)に関連した業務並びに 実務上の取り扱い」について、レクチャーして頂いたため、教員の講義内容の統一が図ることができた。
- ・法改正等に対する対応事例の不足(実務上の判例についてのマニュアル記載を含む)
- →継続的な開発によりマニュアル等の充実を図る。
- ・より厚みのある講義を展開するための知識力・講義力向上並びに教育材の開発
- →実務家による教員研修(勉強会)を継続させる。
- ・従来の対面型勉強会でなく、新たな勉強会の構築
- →新たな取り組みとしてオンラインによる勉強会の実施を行ってきたが、従来通りの対面研修との乖離があるため、対面形 式レベルの研修を行えるように模索する必要がある。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- 本校の学科目的である即戦力として活躍できる人材育成を達成するにあたり、必要不可欠な実務上必要な知識及び業界の動向・変化を知見し習得する事を目的に本学科に関わる企業等と連携を図り実習・演習等を実践する。なお、実習・演習等にあたっては以下の内容を基本方針として計画的な実践を行う。
- ①実習・演習等は企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習等の組み立てを行う。
- ②企業等との連携による実習・演習等を通じて、学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習等の授業運営に関して企業と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連 携している。

- ①実習授業内容構築へのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- |④学生の学習習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
経理実務	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	経理職および事務職に求められる、基礎知識および事務手続きを、企業等との連携により、より実践的に習得することを目的として講義・演習を行う。	アクサ生命保険株式会社 山口一雄税理士事務所
マーケティング概論	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	マーケティングの必要性と目的を学習し、実習形式で学習する。学習内容を企業に評価してもらう。	イオンリテール株式会社
卒業研究·発表	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	マーケティングの知識を活かし、実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し、企業に評価してもらう。	イオンリテール株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の 知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

なお、教員は『教職員研修規定』に則って研修等を受講することが定められている。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

山口一雄税理士事務所 連携企業等:

研修名: スキルアップ研修 山口一雄 氏

期間: 令和6年12月6日(金) 対象: 経理事務担当教員

(1)経理職・事務職として業務に従事する現場の実際を実務家からのレクチャーにより実践的な仕事の心

構えを知る 内容

(2)指導上の課題抽出や対策の検討等により指導スキルの向上を図る

②指導力の修得・向上のための研修等

チームカと学生のヤル気・活気を引き出すコーチング研修 研修名: 連携企業等:Berry Smile 鈴木優子 氏

令和7年3月15日(土) 対象: 全教職員 期間:

自己理解・他者理解を深め、タイプを理解することにより信頼関係を構築する。 内容

相手も自分も気持ちよく、伝えたいことが伝えられるコミュニケーションを理解する。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

山口一雄税理士事務所 研修名: 経理事務職スキルアップ研修 連携企業等:

山口一雄 氏

期間: 令和7年12月上旬(予定) 対象: 経理事務担当教員

(1)経理職・事務職として業務に従事する現場の実際を実務家からのレクチャーにより実践的な仕事の心

内容 構えを知る

(2)指導上の課題抽出や対策の検討等により指導スキルの向上を図る

②指導力の修得・向上のための研修等

Z世代への指示・指導力強化研修(予定) 連携企業等:(株)リスキル 研修名:

期間: 令和7年12月頃を予定 対象: 全教職員

Z世代の特徴を理解し、適切な指導法とかかわり方を理解する。 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行い、有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置し、下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン ガイドラインの評価項目	プリの項目との対応 学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。

(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

就職実績は高い水準を維持している一方で、就職後の立ち振る舞いについて、さらなるレベルアップが期待されている。マニュアル通りの対応だけでなく、状況に応じた柔軟な対応力が求められることから、入社前準備学習として社会人としての立ち振る舞いの指導を強化するようにしている。学生の状況の多様化、複雑化している中で、「学生に寄り添い、話を丁寧に聞く姿勢が大切ではないか」との意見も寄せられた。こうした声は教員間でも共有し、全教員参加の教員研修としてコーチング研修等を受講することにより指導力の向上に努めている。また、PCスキル向上についても意見が挙がり、環境強化を図るために新たにPCの導入を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月1日現在

名 前	所属	任期	種別
牛尾 克明	牛尾税務会計事務所 副所長 税理士	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
千浜 玄明	株式会社三和 人事部長 兼 経理部長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
千葉 亮二	株式会社リングストン 取締役工場長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	卒業生
三浦 祐輔	株式会社システムシェアード 東京ITスクール 部長	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
長谷川 智之	医療法人徳洲会 千葉西総合病院 医事課係長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
新城 早智子	宇田川・新城法律事務所 弁護士	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
田嶋 小乃実	医療法人徳洲会 千葉西総合病院 医事課	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームペーシ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。
- (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針
(2)各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③進級の認定 ④卒業の認定 ⑤専門士の称号付与 ⑥目標とする国家試験、検定試験等 ⑦主たる国家試験、検定試験等の合格実績 ⑧卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金·修学支援	①学生納付金 ②奨学金、授業減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果公開
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	-

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他(

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

				專門課程 経理	本科)					• 4114				Let	_	
		択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業	単位		漢海	実 験 •	校		専		٢
	修	必修	選択			· 学 期	数	数	義	習	実習・実技	内	外	任	任	の
1	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	1 · 前	30	1		0		0		0		
2	0			ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	1 • 通	30	1	Δ	0		0		0		
3	0			キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	1 • 通	30	1	Δ	0		0		0		
4	0			簿記入門 I	株式会社における複式簿記の基本原理を学 ぶ	1 • 前	30	1	0			0		0		
5			0	2級商業簿記 基礎 I	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ	1 · 前	90	3	0			0		0		
6				2級工業簿記 基礎 I	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	1 · 前	60	2	0			0		0		
7			0	2級簿記総合 I	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学び、本支店会計、連結会計、原 価計算の基礎も学ぶ	1 · 前	120	4		0		0		0		
8					株式会社における複式簿記の基本原理、簿 記の基本原理を学ぶ	1 · 前	90	3	0			0		0		
9			0	3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題 演習を通じて学ぶ	1 · 前	120	4		0		0		0		
10			0	1級会計学入 門 I	資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ	1 · 前	90	3	0			0		0		
11				1級原価計算 入門 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的 な内容を学ぶ	1 · 前	90	3	0			0		0		
12					会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計の基礎について学ぶ	1 · 前	30	1	0	Δ		0		0		
13				1級原価計算 基礎 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎お よび経営戦略の基本的な内容を学ぶ	1 · 前	30	1	0	Δ		0		0		
14			0	1級会計学総 合 I	会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ	1 · 後	90	3		0		0		0		

15	0	1級原価計算 総合 I	原価計算基準の理論体系、多様化する製造 過程に対する会計処理、経営戦略につい て、より詳細に学ぶ		90	3		0	0	0	
16	0	2級商業簿記 基礎Ⅱ	試算表、精算表、財務報告書など他の会計 書類の関連性について体系的に学び、財務 報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ		90	3	0		0	0	
17	0	2級工業簿記 基礎Ⅱ	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ	. 1 · 前	90	3	0		0	0	
18	0	2級商業簿記応用 I	商企業の会計処理に関する全体の関連性に ついて体系的に学ぶ	1 後	30	1	0		0	0	
19	0	2級工業簿記応用 I	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ	1 • 後	30	1	0		0	0	
20	0	2級簿記総合Ⅱ	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	1 後	90	3		0	0	0	
21	0	2級簿記総合Ⅲ	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題 の演習を通じて学ぶ	1 . 後	90	3		0	0	0	
22	0	会計学入門 I	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び 論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1 • 前	60	2	0	Δ	0	0	
23	0	会計学入門Ⅱ	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ	1 • 前	60	2	0	Δ	0	0	
24	0	キャリアデザ インⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルを学ぶ	1 • 後	30	1	Δ	0	0	0	
25	0	キャリアデザ インⅢ	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	1 · 後	30	1	Δ	0	0	0	
26	0	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習する		30	1	0		0	0	
27	0	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	1 • 後	60	2	Δ	0	0	0	
28	0	Power Point 基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1 • 通	30	1	Δ	0	0	0	
29	0	ITリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコン ピュータの基本操作を学ぶ	1 • 後	90	3	Δ	0	0	0	
30	0	簿記論入門 I	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する	1 • 前	30	1	0		0	0	
31	0	財務諸表論入 門 I	会計学の概要入門を学ぶ	1 • 前	30	1	0	Δ	0	0	

32			0	消費税法入門 I	売上取引を中心とした消費税の可否区分の 考え方を学習する	1 • 前	30	1	0		0	()	
33			0	簿記論入門Ⅱ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する	1 • 後	90	3	0		0	()	
34			0	財務諸表論入 門 Ⅱ	会計基準の入門概要を学ぶ	1 • 後	90	3	0		0	()	
35			0	消費税法入門 Ⅱ	控除税額を中心とした考え方を学習する	1 • 後	90	3	0		0	()	
36			0	簿記論基礎 I	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する	1 後	120	4	0		0	()	
37			0	財務諸表論基 礎 I	金融商品取引法の概要入門を学ぶ	1 • 後	120	4	0		0	()	
38			0	消費税法基礎 I	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する	1 · 後	120	4	0		0	()	
39			0	簿記論基礎Ⅱ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する	1 後	120	4	0		0	()	
40			0	財務諸表論基 礎 Ⅱ	会計学の入門・基礎を学ぶ	1 • 後	120	4	0	Δ	0	()	
41	0			一般教養Ⅱ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	2 • 前	30	1		0	0	()	
42	0			ビジネス教養 Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う	2 • 通	30	1		0	0	()	
43		0		経理実務	経理実務で必要となる業務内容を体系的に 学び、知識を習得する	2 • 通	60	2	Δ	0	0	()	0
44		0		給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する		30	1	Δ	0	0	()	
45		0		マーケティン グ概論	マーケティングの必要性と目的を学習する	2 • 後	60	2	Δ	0	0	()	0
46		0		卒業研究・発 表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案 を提案し発表する	2 · 後	60	2		0	0	()	0
47			0	FP基礎	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2 • 前	120	4	0	Δ	0	()	
48			0	FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2 • 前	60	2		0	0)	

49	0	FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経 済社会との関係性を理解する	2 • 前	90	3		0	0	0	
50	0	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	2 • 通	30	1	Δ	0	0	0	
51	0	コミュニケー ション概論	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	2 • 前	30	1	Δ	0	0	0	
52	0	パソコン実習 I	Excelの資料作成、作業スピードを向上する テクニックを習得する	2 • 通	30	1	Δ	0	0	0	
53	0	パソコン実習 Ⅱ	Excelの資料作成、作業スピードを向上する テクニックを習得する	2 • 通	30	1	Δ	0	0	0	
54	0	パソコン実習 Ⅲ	応用的な機能を活用した文書作成や複雑な データ集計を行うスキル習得のための実習 を行う	2 • 通	30	1		0	0	0	
55	0	ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 • 通	60	2	Δ	0	0	0	
56	0	英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに 学習する	2 • 通	30	1	Δ	0	0	0	
57	0	財務会計	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深める		90	3	0	Δ	0	0	
58	0	ITパスポート 基礎	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専 門用語を理解する	2 通	90	3	0		0	0	
59	0	IT パス ポー ト・リテラシ 演習	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問 題演習を通じて学ぶ	2 • 後	30	1		0	0	0	
60	0	ITパスポート 応用	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え 方をを問題演習を通じて学ぶ	2 • 後	60	2	Δ	0	0	0	
61	0	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 • 後	30	1	0		0	0	
62	0	簿記論応用Ⅱ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する	2 • 前	60	2	0		0	0	
63	0	財務諸表論応 用 Ⅱ	会社法の入門・基礎を学ぶ	2 • 前	60	2	0	Δ	0	0	
64	0	簿記論総合Ⅱ	問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する	2 • 前	180	6	0		0	0	
65	0	財務諸表論総 合 Ⅱ	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ	2 • 前	180	6	Δ	0	0	0	

66	0	簿記論応用 I	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考 を基に、文章問題を解答する	2 • 前	60	2	0		0	0	
67	0	財務諸表論応 用 I	会社法の概要入門を学ぶ	2 • 前	60	2	0	Δ	0	0	
68	0	消費税法応用 I	軽減税率や複数税率などの考え方を学習す る	2 • 前	60	2	0		0	0	
69	0	簿記論総合 I	問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する	2 • 前	180	6	0		0	0	
70	0	財務諸表論総 合 I	財務諸表作成の入門概要を学ぶ	2 • 前	180	6	Δ	0	0	0	
71	0	消費税法総合 I	確定申告書の納付税額算出までの基本的な 流れを学ぶ	2 • 前	180	6		0	0	0	
72	0	簿記論入門皿	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する	2 • 前	30	1	0		0	0	
73	0	財務諸表論入 門Ⅲ	会計学の基礎を学ぶ	2 • 前	30	1	0	Δ	0	0	
74	0	消費税法入門 Ⅲ	売上取引を中心とした消費税の可否区分の 処理方法を学習する	2 • 通	30	1	0		0	0	
75	0	相続税法入門 Ⅲ	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	2 • 通	30	1	0	Δ	0	0	
76	0	法人税法入門	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的 とする	2 · 前	30	1	0		0	0	
77	0	簿記論基礎Ⅲ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する	2 · 後	120	4	0		0	0	
78	0	財務諸表論基 礎皿	会計基準の基礎を学ぶ	2 · 後	120	4	0		0	0	
79	0	消費税法基礎 Ⅱ	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に 処理方法を学習する	2 · 後	120	4	0		0	0	
80	0	相続税法基礎 Ⅱ	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解を行 う	2 · 後	120	4	0	Δ	0	0	
81	0	法人税法基礎 Ⅱ	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の 体系を学ぶ	2 · 後	120	4	0		0	0	
82	0	簿記論基礎Ⅳ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する	2 • 後	60	2	0		0	0	

				I		T,						T	\neg
83			0	財務諸表論基 礎Ⅳ	金融商品取引法の基礎を学ぶ	2 • 後	60	2	0		0	0	
84			0	消費税法基礎 Ⅲ	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理 方法を学習する	2 · 後	60	2	0		0	0	
85			0	相続税法基礎 Ⅲ	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文 章問題を解答する	2 • 後	60	2	0	4	0	0	
86			0	法人税法基礎 Ⅲ	組織再編税制を中心とした法人税法の体系 を学ぶ	2 後	60	2	0		0	0	
87			0	英語	英文法の基本事項を学習し、読解力も身に つけながら、ビジネスシーンで必要となる 基礎英語を中心に学習する		60	2	0	Δ	0	0	
88			0	英会話基礎	販売接客に関連する基本的な英会話の事例 を元に学習する	2 · 通	30	1	Δ	0	0	0	
89			0	体育	体育の総合演習を通して、実技及び理論の 学習を行うとともに、スポーツを通した選 動の意義を理解する		60	2	Δ	0	0	0	
90			0	経営学総論	ヒト・モノ・カネ等の資源を集め、消費者 に受け入れられる製品を生産するため、企 業がいかに行動すべきかを研究する		60	2	0	Δ	0	0	
91			0	マーケティン グ研究	マーケティングの必要性と目的を学習し、 事例研究を通じてマーケティングを演習す る	2 • 通	240	8	Δ	0	0	0	
92			0	マーケティン グ基礎	事例研究を通じてマーケティングを演習す る	2 • 通	60	2	Δ	0	0	0	
合計 92 科目 6,630 単位(単位時間)													

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	■学業成績 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、 秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、 不可は60点未満とする。 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。 ■単位の授与 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。 ■卒業の認定 修業年限以上在学して、所定の授業時数以上履修し、かつ下記に定めるところにより授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業を認定する。	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間 試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本 校が必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験を行う。	1 学期の授業期間	22 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。